I-O DATA

M-MANU200925-01

はじめにお読みください

AVHD-UQシリーズ

この度は、「AVHD-UQシリーズ」(以下、本製品と呼びます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に[本紙]および[セットアップガイド]をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

- 〈レグザ〉、〈ヴァルディア〉、レグザチューナーと接続する場合は、「セットアップガイド①」をご覧ください。
- PlayStation®3 (torne(トルネ)™)、シャープ液晶テレビ アクオスと接続する場合は、「セットアップガイド②」をご覧ください。
- パソコンでお使いの場合は、画面で見るマニュアルをご覧ください。(画面で見るマニュアルは下記URLにてご覧ください。)
  http://www.iodata.jp/support/product/avhd-uq/

内容物の確認

電源モード・LEDモードについて

長押し(約5秒)で切り替え

短押しで切り替え

電源モード ＼ LEDモード	電源連動モード 接続した機器の電源に連動して、本製品の電源がON/OFFします。 ※予約録画する場合は、本モードにしてください。 ※USB HUBを経由して本製品を接続した場合は、LEDは点灯状態のままとなります	強制電源OFFモード 接続した機器の状態に関わらず、常に電源が切れた状態になります。 ※予約録画する場合は、電源連動モードにしてください。
ノーマルモード 録画(書き込み)/再生(読み込み)に応じてLEDが点滅します。	(工場出荷時設定) スタンバイ時　：薄暗い赤色が点灯 電源ON時　：薄暗い青色が点灯 録画(書き込み)時　：明るい赤が点滅 再生(読み込み)時　：明るい青が点滅	LEDは点灯しません。
LEDセーブ(電源/アクセスLED消灯)モード 録画(書き込み)/再生(読み込み)に関わらず、LEDは点滅しません。点滅がわずらわしく感じる際に便利なモードです。	スタンバイ時　：ノーマルモードより薄暗い赤色が点灯 電源ON時/　：ノーマルモードより薄暗い青色が点灯 録画(書き込み)時/ 再生(読み込み)時	LEDは点灯しません。

電源/アクセス

長押し(約5秒)
または
短押し

ご注意 録画(書き込み)や再生(読み込み)中に強制的に電源をOFFにすると、データが消失する場合があります。
本製品を強制電源OFFにする場合には、接続した機器の電源がOFFになってから本製品の電源をOFFにすることをおすすめします。

動作環境

❑ 対応機種

■USB(2.0/1.1)インターフェイスを標準装備したパソコン

※USB 2.0インターフェイスでの動作は、弊社製USB 2.0インターフェイスにおいて確認を行っております。動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合せください。
※USB2.0でご使用いただくには、USBポートおよびOSがUSB 2.0に対応している必要があります。対応していない場合は、USB 1.1として動作します。

■東芝ハイビジョン液晶テレビ〈レグザ〉

Z1, RE1, HE1, H1, R1, ZX9500, Z9500, ZX9000, Z9000, H9000, R9000, 32RX1, R1BDP, ZX8000, ZH8000, Z8000, H8000, ZH7000, Z7000

■東芝ハイビジョンレコーダー〈ヴァルディア〉

RD-X9, RD-S1004K, RD-S304K

■東芝レグザチューナー

D-TR1

■シャープ製液晶テレビ「アクオス」

LV3 ライン、LX3 ライン、DZ3 ライン

■ソニー　PlayStation®3
torne(トルネ)™ CECH-ZD1J

❑ 対応OS

Windows 7(32/64ビット版)、
Windows Vista®(32/64ビット版)、
Windows XP(32ビット版)
Mac OS X 10.4～10.6

(注)サポートソフトウェアの対応OSは上記と異なる場合があります。詳しくは各ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
サポートソフトウェアについては、下記URLよりご確認ください。
http://www.iodata.jp/support/product/avhd-uq/

より詳しい対応機種情報は、以下ページをご覧ください

AV機器の場合
http://www.iodata.jp/product/hdd/hdd/avhd-uq/
パソコンの場合
http://www.iodata.jp/pio/

パソコンと接続してご利用の場合は、以下にご注意ください。
- 起動用ドライブとしてはご使用いただけません。
- 長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- ご利用の本体との組み合わせにより、スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどの省電力機能はご利用いただけない場合があります。

ハードウェア仕様

インターフェイス仕様	USB 2.0、USB 1.1
電源仕様	AC100V±10%　50/60Hz
使用温度範囲	5～35℃ (パソコンやAV機器の動作する範囲であること)
使用湿度範囲	20～80% (結露なきこと、パソコンやAV機器の動作する範囲であること)
本体質量	約1.2kg(本体のみ)
外形寸法	196(W)×124(D)×40(H)mm (本体のみ)

❑パソコンでのフォーマット後の容量について

フォーマット後にOSに表示される容量は、計算方法が異なるために若干減少しているように見えます。

- 本製品の容量:1TB=1,000GB,1GB=1,000MB、1MB=1,000,000Bで計算
- OS上で表示される容量:1TB=1,024,1GB=1,024MB、1MB=1,048,576Bで計算

例)1TBのハードディスクの場合

仕様容量	約1TB (=約1,000,000MB)
OS上の表示	約931GB(=約953,674MB)

安全のために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

〈警告表示〉

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

〈絵記号の意味〉

この記号は禁止の行為を告げるものです。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

⚠警告

本製品を修理・改造・分解しない。
火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。修理は弊社修理センターにご依頼ください。
分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止し、電源を切って電源プラグを抜く。
電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

本体を濡らさない。
火災・感電の原因になります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

電源（AC アダプター・ケーブル・プラグ）について

発熱、火災、感電の原因となりますので以下をお守りください。

●**ACアダプターや接続ケーブルは、添付品または指定品のもの以外を使用しない。**
ケーブルから発煙したり火災の原因になります。

●**AC100V(50/60Hz)以外のコンセントに接続しない。**

●**ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などをしない。**

●**ゆるいコンセントに接続しない。**
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。

●**電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らない。**
電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルに傷が付き、火災や感電の原因になります。

●**添付のACアダプターや接続ケーブルは、他の機器に接続しない。**

●**じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保温性の高いものの近くで使用しない。**

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

使用上のご注意

**本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。万が一の場合に備え、定期的に「バックアップ」を行ってください。
弊社では、いかなる場合においても記録内容の修復・復元・複製などはいたしません。
また、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても一切その責任は負いかねます。**

バックアップとは

ハードディスクなどに保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（ハードディスクやBD・DVDメディアなど）にデータの複製を作成することをいいます。
外付ハードディスクなどにデータを移動させることは「バックアップ」ではありません。
同じデータが2か所にあることではじめて「バックアップ」をした事になります。
万が一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータは使えるので安心です。不測の事態に備えるためにも、ぜひバックアップを行ってください。

●**本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。
《使用時/保管時の制限》
●振動や衝撃の加わる場所 ●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所 ●温度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
●強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など） ●水気の多い場所（台所、浴室など）
●傾いた場所 ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど） ●静電気の影響の強い場所
《使用時のみの制限》
●保温、保温性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

●**本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。**
●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

●**アクセスランプ点灯／点滅中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。**
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

●**本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。**

●**本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。**
●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因になります。

アフターサービス

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

必ず以下の内容をご確認ください

弊社サポートページのQ&Aを参照
➡ http://www.iodata.jp/support/

最新のドライバーソフト等をダウンロード
➡ http://www.iodata.jp/lib/

それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話： 050-3116-3015
※受付時間　9：00～17：00　月～日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）
FAX： 076-260-3360
インターネット： http://www.iodata.jp/support/

<ご用意いただく情報>　製品名 / パソコンの型番・OSまたは接続しているAV家電機器の型番

修理について

修理をご依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

●氏名 ●住所 ●電話番号
●FAX 番号 ●メールアドレス ●症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷してご利用いただくと便利です。

梱包は厳重に!
弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

紛失をさける為 **宅配便・書留ゆうパック** でお送りください。

**〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛**

●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。（見積無料）
金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
●内部データは厳密な検査のため、消去されます。何卒、ご了承ください。
バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
●お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
●保証内容については、保証規定に記載されています。
●修理をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは… **http://www.iodata.jp/support/after/**

譲渡・廃棄の際の注意

データ消去ソフト等利用し、データを完全消去してください

本製品に記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。
その結果として、情報が漏洩してしまう可能性があります。

●情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。
弊社製「DiskRefresher3 SE」をサポートライブラリよりダウンロードしてご利用いただけます。詳しくは、画面で見るマニュアルご覧ください。
http://www.iodata.jp/lib/

ハードディスク上のソフトウェアについて
ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

●本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2010.10.13